

2023 六大学野球春季リーグ・「明治 vs 早稲田戦」応援観戦 報告

多摩支部企画事業委員長 土井隆夫

5月14日(日)勝てば優勝という早稲田戦2回戦に神宮球場1塁側応援席に行きました。神宮球場隣の国立競技場からはJ1リーグの花火が見られました。試合結果は、6-3で勝利し、3季連続となる通算43回目の優勝を果たしました。明治のリーグ3連覇は1937年春・秋・1938年春リーグ以来、85年ぶりの快挙です。

1回裏に連打で3点先取、以後塁には出るものの得点できず、石原左腕投手が早稲田打線を抑えていましたが、6回表に早稲田に3ラン本塁打を打たれ1点差となりハラハラ、追加得点を期待する中の8回裏に2年生小島捕手の2ラン本塁打が出て引き離し、勝利しました。来週の立教戦が残っていますが勝ち点と勝率で優勝決定となりました。

春季リーグでの成績では、初戦の東大や慶應に苦戦するも投打充実の法大や早稲田には2連勝、何か相性でもあるかもしれません。

明大硬式野球部は、6月5日から始まる第72回全日本大学野球選手権大会に東京六大学野球連盟代表として出場、その後駿河台で優勝パレードや祝勝会が開催されるかと思えます。

今年、大学野球四冠(春秋の六大学と大学野球選手権)へ“挑”戦しています。応援席では、応援団(チアリーダー含め)がグラウンドに後ろ向き、ひたすら一生懸命声を張り上げ来場者へ応援指導していて頭が下がります。どうか多くの校友も神宮球場に足を運んで欲しいです。

(写真などは明治大学HPや明大スポーツ新聞-体育会からご参照ください)